

年 組 名前：

問1

新山梨環状道路の建設予定地から、
新たな遺跡が発見されました。
その遺跡の名称を教えてください。

.....

問2

発掘では、いつの時代の地層から、
土器が出土しましたか。

.....
.....
.....

問3

遺跡からは、どのような戦国時代の
遺構が確認されましたか。

.....
.....
.....

問4

山梨県内には、いくつかの遺跡があります。あなたが知っている遺跡名を書いてください。

.....

戦国時代の遺構発見 笛吹 水害備え造成功

県埋蔵文化財センターが新山梨環状道路建設に伴い、発掘調査をしている笛吹市石和町小石和で新たな遺跡が発見された。戦国時代の遺構で、水害に備えて造成したとみられる。

現場は新山梨環状道路の橋脚と側道の建設予定地で、試掘により遺跡の存在が明らかになった。遺跡は「神明遺跡」と名付けられた。

今年8月から約920平方メートルを発掘し、10世紀（平安時代後期）、12〜13世紀（平安時代後半―鎌倉時代）、15世紀以降（戦国時代）の三つの地層から土器が出土した。遺跡の一部では焼けた土を含む穴が10個以上見つかったほか、こぶし大の石が並べられた痕跡や幅8センチ、深さ1・5センチの溝など戦国時代の遺構が確認された。

調査を担当している久保田健太郎さんによると、遺構は遺跡の中でも高い場所にあった。低い所には泥や砂がたま

つており、川や沼のへりなど「水辺に近い環境だったと想像できる」という。盆地の中心で笛吹川も近いことから水害に備えてムラを造ったと考えられ、「水害とともに暮らした人の土地利用の実態が見えてくる」と話した。

11日に現地説明会を開く。午前10時半、午後1時半の2回。雨天中止。申し込み不要。問い合わせは同センター、電話055(266)3016。

〈田辺彩子〉

新山梨環状道路の建設工事に伴う発掘調査で発見された神明遺跡＝笛吹市石和町小石和



(2023年11月10日付 山梨日日新聞18面)